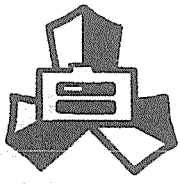


平成 27 年 1 月 7 日

横浜市立白根小学校 学校だより



しらね 1月号

年頭にあたり再度みんなで創る「いい学校」
～「いい学校」は「いい評判づくり」から～

学校長 持丸 隆一

あけましておめでとうございます。今年もいい年とするために、みんなの力で「いい学校」創りに向けて力を、心を合わせていきたいと思えます。ご協力よろしくお願ひします。

さて、4月に「いい学校」とは、と掲げて9か月が過ぎました。白根小学校は、今年度、子どもにとって、保護者にとって、地域にとって、職員にとって「いい学校」となってきたでしょうか。安全見守りの地域の方々からは、「子どもたちがよく挨拶をしてくれるようになったよ」とか「学年を超えて、仲よさそうに登校しているよ」などの声を頂いています。

たくさんのボランティアの方々のご尽力で学校の学びの環境も整ってきました。実際のところ、子どもたちも努力をし、子どもたちにとっても安全で安心して学習活動ができる、友だち同士で認め合える学校になってきていると思えます。うれしい話を頂くたびに子どもたちにも伝え、子どもたちも褒められることでさらにより行動をとろうと努力しています。このようにプラスの評価を受けているときは、プラスの連鎖でよい方向に大きな力が働くのですが、一度マイナスの評価を受け、マイナスの風が吹くとどんどん自信を無くし、何をやってもうまくいかないということになってしまいます。

当然、悪いことは蓋をするのではなく、明らかにし、改善していくのですが、怖いのが根拠のない噂です。人の口に戸は立てられないと言うように、噂を打ち消すことはできないのですが、私たち（白根小学校にかかわるすべての人）は、白根小学校が「いい学校」となるよう力を、心を合わせているところですから、せめて確かなことではないことは言わないようにすることはできると思えます。また、子どもたちの成長を共に支えるものとして、よくわからないことは、直接学校に聞く、問うということが何よりも大切なことと思えます。そして、子どもの成長に対して学校と責任を共有しているのだという自覚を強くもつことも大切だと思えます。

学校も正しい情報が伝わるように学校便りや学年便り、ホームページなどでの発信の仕方を工夫しています。また、様々な機会に顔を合わせるとちょっとした情報交換も行うようにしています。今年度は、正しい情報が共有されるように特に懇談会や個人面談での情報交換の在り方も工夫するようにしてきました。また、多くの方が学校に足を運んでいただけるよう公開の在り方も検討しています。

まだまだ至らない点もあるかとは思いますが、年頭にあたり、もう一度、保護者の皆様や地域の方々と白根の子どもを育てるベクトルをそろえて進みたく思えます。いい情報を共有し、いい話をたくさんし、いい評判の中で子どもたちを育てることで、伝統ある白根小学校をより「いい学校」にしていく一年としましょう。